



**灯りやんせ・キャンドルアートコンテスト
心を奪う光のアート**

10月19日、キャンドルグラスや行燈などによるライトアップイベント「灯りやんせ・キャンドルアートコンテスト」が、北前船主の館右近家とその周辺で開催されました。

午後5時、空が薄暗くなると「海」北前船「灯り」をテーマにした様々な作品に火が灯され、辺りは光のアートで彩られました。

ライトアップで浮かび上がった幻想的なムードを楽しもうと訪れた人たちは、コンテストの作品や右近家の中庭などに描かれた鮮やかな作品をゆっくりと時間をかけ鑑賞。普段とは違った雰囲気の中、やすらぎを感じながら心を癒していました。



**第11回旧国鉄北陸線ウォーキング大会
先人たちの通った道を歩む**

10月27日、蒸気機関車が走った道を通ると旧国鉄北陸線ウォーキング大会が行われ、県内外から家族連れら63人が参加。今庄一敦賀市葉原間や北国街道を歩きました。

10kmと20kmの2コースに分かれスタートした参加者らは、穏やかに吹く秋の風と風光明媚な景色を楽しみながら自分のペースで歩を進めていきました。途中の要所では、西日本鉄道OB会の会員から旧北陸線やスイッチバックなどの説明を聞いたり、赤レンガのトンネルで記念撮影をしたりと、当時の姿を思い描きながら秋の一日を堪能していました。



**山海里・秋の収穫祭
味覚の秋の到来**

11月3日、リトリートたくらで山海里・秋の収穫祭が開催され、県内外から約2千人が来場し賑わいました。

会場には、おろしそばや茶めし、魚の塩焼き、きびだんごなどの模擬店のほか、とれたての新鮮野菜やおふくろの味を楽しめる田舎料理などがたくさん並び、訪れた人たちは秋の恵みを思う存分味わいました。また、しし肉の炭火焼や鍋の振る舞いも行われ、おいしいそうなおにぎりに誘われたお客らで開始早々長蛇の列ができていました。ステージでは、たきあやかさんによる歌謡ショーが行われ、観客らの目を楽しませていました。



**つるし柿づくり体験会
伝統の技法を学ぶ**

今庄つるし柿の歴史や製法を学んでもらおうと、11月10日、鹿森公民館で柿の加工体験が行われ県内外から20人が参加しました。今庄つるし柿は、全国で唯一この地にしか残っていないと云われる「いぶし」という技法により独自の風味が生まれ名産品として県内外で広く食されています。

参加者らは今庄特産柿振興会の会員の指導のもと、「長良」という渋柿の皮を専用の皮むき器で丁寧にむき、道芝を編んで作ったつるし紐に等間隔に結えました。このあと、自宅での乾燥のノウハウを学び解散。「早く食べたい」などと、珍味と呼ばれるつるし柿の仕上がりを楽しみにしていました。

